

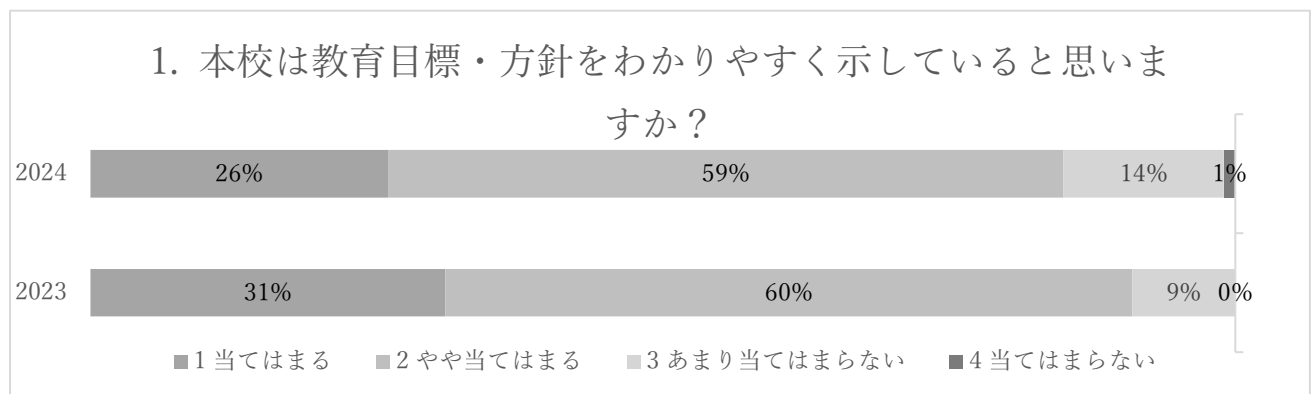
令和6年度 学校教育評価 結果と考察

座間市立相武台東小学校
校長 山崎 聡子

本年度12月に保護者と児童を対象に、相武台東小学校の学校教育に関するアンケートを実施しました。ご協力ありがとうございました。その結果と考察をご報告いたします。

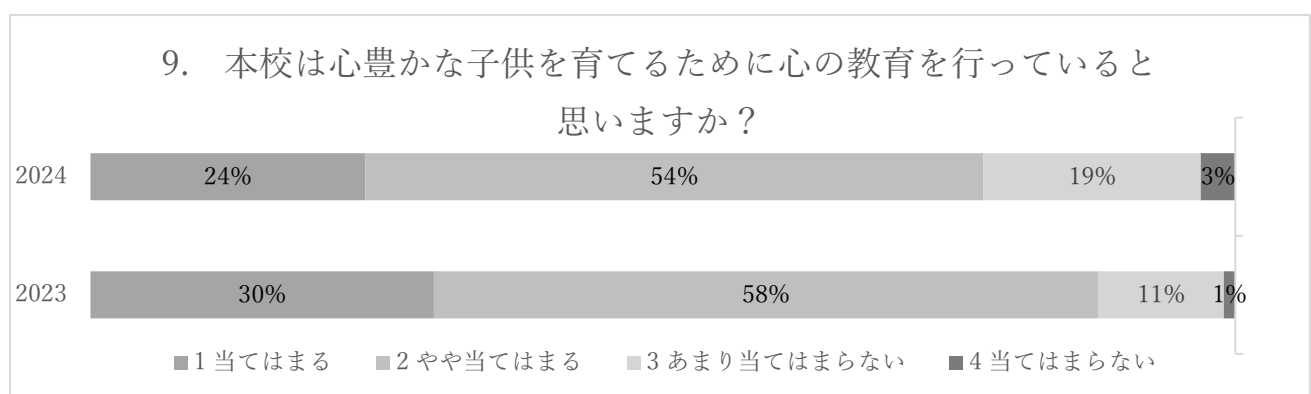
《保護者アンケートより》

◇学校経営方針に対する、保護者への周知と理解についての設問です。



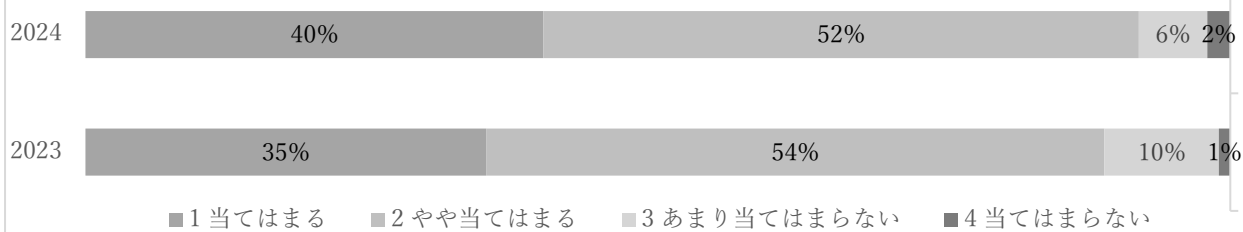
全体としては、肯定的回答率85%と高い評価を受けていますが、昨年度の91%より少し肯定的回答率が下回る結果となりました。今後も、学校ホームページや校長室だより、学校だより等を通してお伝えし、校内掲示や新1年生保護者説明会、懇談会等で丁寧な説明に努めていきます。

◇本校教育目標でもあり、座間市教育施策の大きな柱でもある「心豊かな子供の育成」についての設問です。



本校のめざす児童像の中に、思いやりを持ち助け合える子を位置付けています。この児童像を育成するために、道徳教育の充実に努め、児童会を中心とした思いやりプロジェクトの取組、交流フェスティバル、学年間交流活動等、思いやりと助け合いの心の教育を大切にしています。今後も教育課程全般で実体験や交流活動を重視した創意を生かした取組や道徳教育のさらなる充実に努め、子供たちの豊かな心の育成を継続していきます。

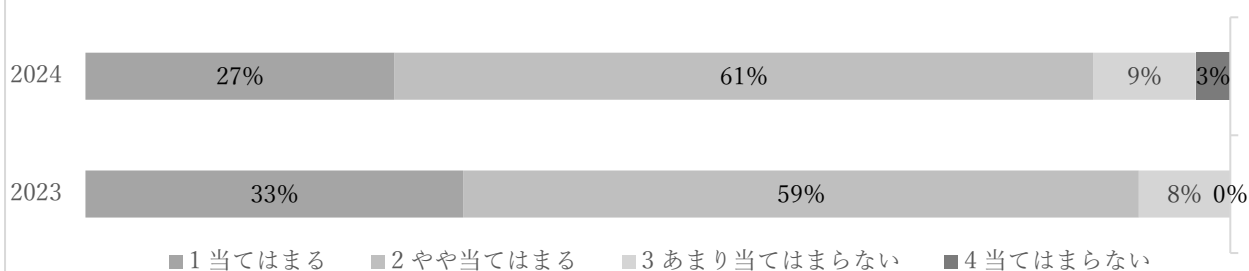
2. 本校は、学校行事などの教育活動を工夫していると思いますか？



今年度は運動会や5年キャンプ、6年修学旅行など泊を伴う行事やバス遠足等、児童が楽しみにしている行事がほぼコロナ禍前と同じように実施することができました。また、土曜参観やコミコミスクールなど学校の教育活動を保護者の皆さんに参観していただく機会も設けることができました。今後も保護者や地域・コミュニティ・スクールの皆様の声などを聞きながら、さらに児童が生き生きと学び成長できる学校を目指して、工夫改善に取り組んでいきます。

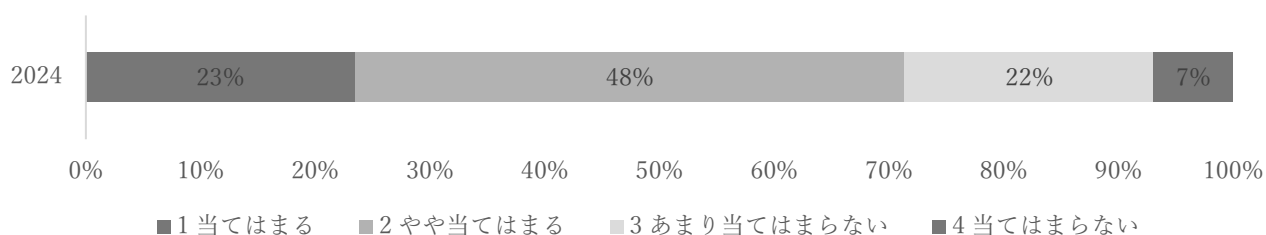
◇児童にとって効果的な授業ができているかを問う設問です。

14. 授業はわかりやすく充実していると思いますか？



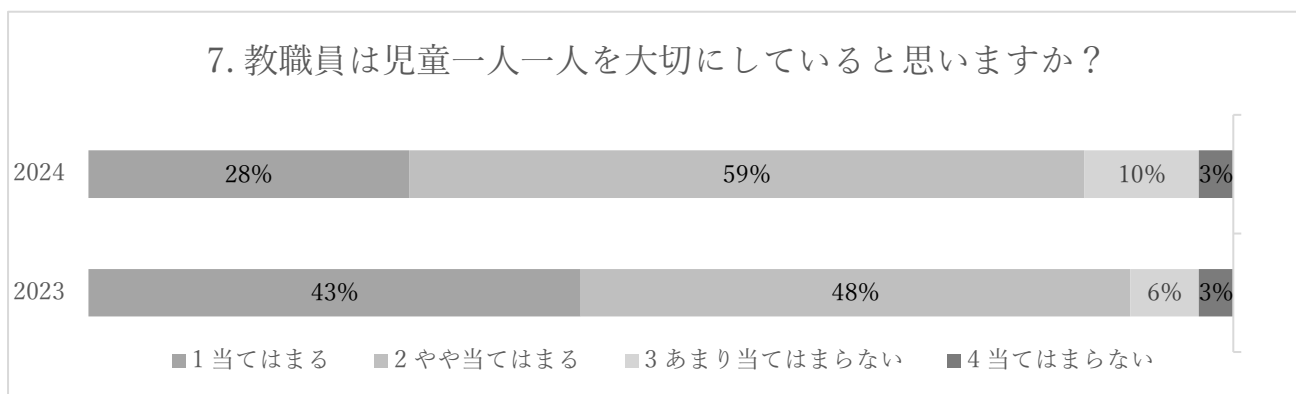
わかりやすい授業については、肯定的回答率が88%という結果となりました。本校では「ともに学び合い、みんなが高まる授業」を目指して全職員で研究を進めています。評価結果からは評価していただいている一方で、まだまだ授業改善の工夫を求める声があることも感じられます。今後も校内研究を中心に、学校全体で授業改善と充実に取り組んでいきます。

15. 一人一台学習用端末やICT機器が整備され、教育活動に有効に利用されていると思いますか？

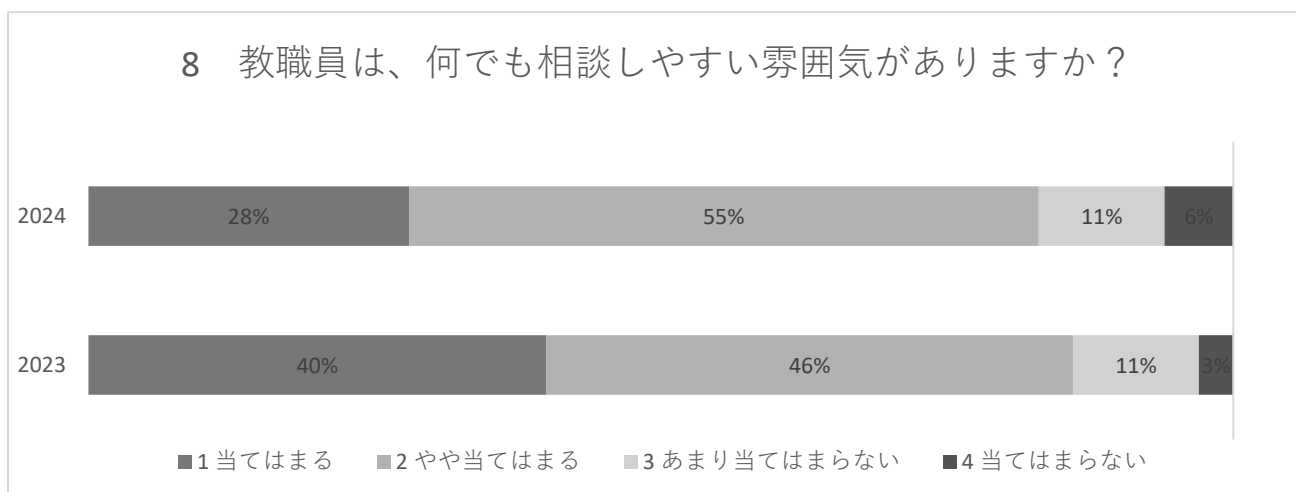
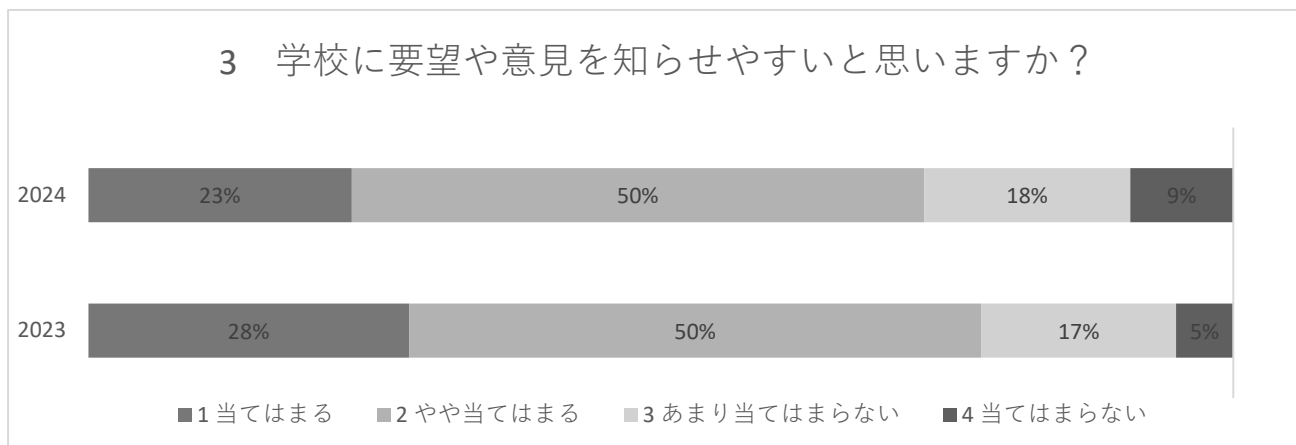


今年度からの新しい設問です。GIGA スクール構想により一人一台の学習用端末が貸与されてから、4年が過ぎようとしています。この間、授業や教育活動の中での学習用端末をはじめとした ICT 機器の活用は確実に進みました。授業内での活用は昨年よりもさらに進み、児童も昨年よりさらにいろいろな場面で活用することができるようになってきています。学年に応じて家庭へ持ち帰り家庭学習での活用にも力を入れてきましたが、今後さらに家庭での活用も視野に入れ、指導を進めていきたいと考えています。また並行して情報モラル教育にも力を入れながら、学びのコミュニケーションツールとしての ICT 機器の活用や、発達に課題がある児童への支援的ツールとしてのより良い活用を目指していきます。

◇教職員の、児童や保護者・地域に対する向き合い方や連携についての設問です。



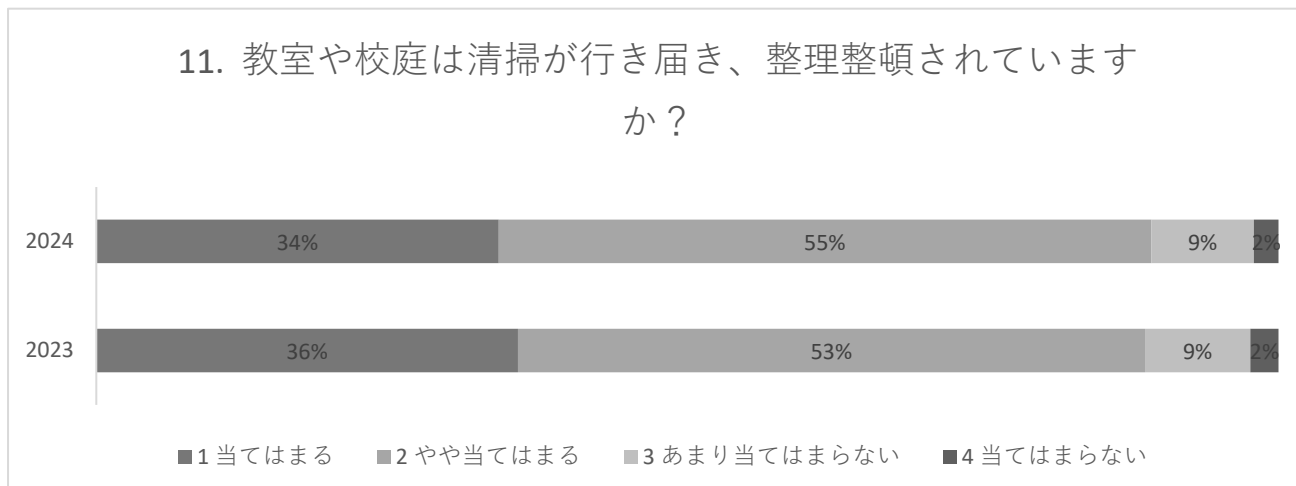
肯定的な回答率は87%ですが、昨年度よりも4%減っている点は残念です。また『当てはまらない』と回答をしていただいた保護者の方々がいることに対して、教職員一同が保護者の皆様の声に耳を傾け、児童一人一人に寄り添った指導や温かな支援に努めていきます。



年2回の個人面談を中心に、スクールカウンセラーへの相談や教育相談コーディネーターの活用といった取組を今年度も行ってきましたが、どちらも肯定的回答が数%減っている点は残念です。引き続き、教育相談体制の充実や個に応じた指導等に取り組み、きめ細やかに対応できるようにしていきます。

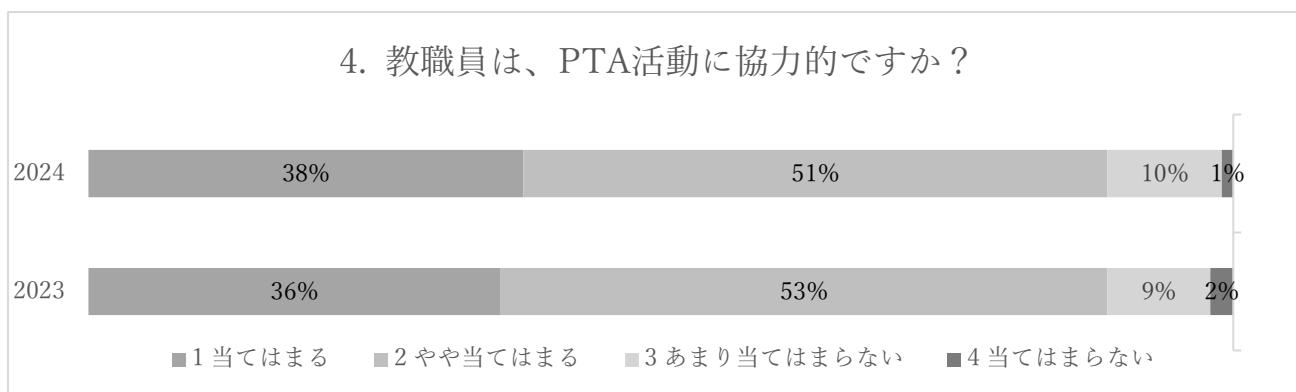
個人面談時以外でも、いつでもどの職員にでも、声をかけやすい場面で遠慮なくご相談ください。

◇環境整備状況についての設問です。



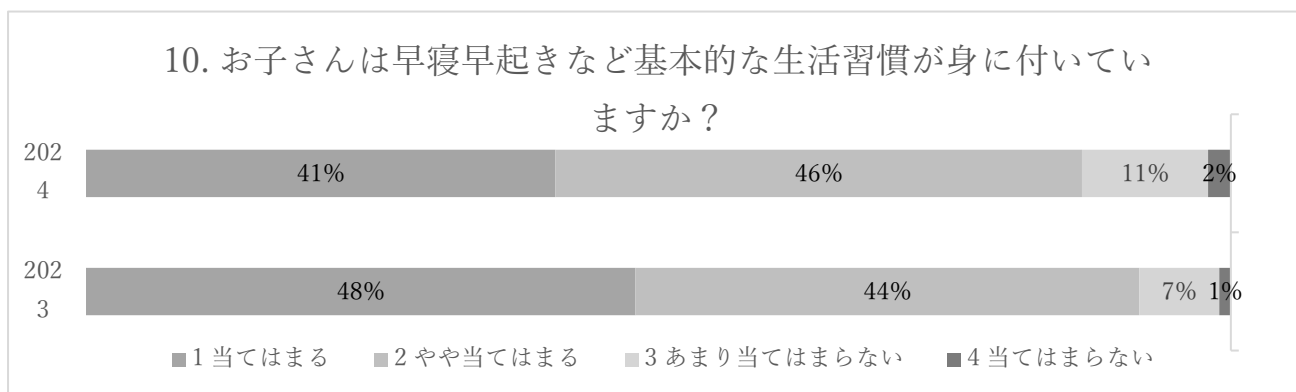
前年度とほぼ同じ結果となりました。業者による毎月2回の定期的なトイレ清掃、各教室や特別教室の床清掃とワックスがけ、除草作業や樹木伐採、さらに児童による清掃活動や美化委員会の常時活動である休み時間清掃や全校児童に呼びかけた『清掃スタンプラリー』の取組などが、衛生的で整った教育環境の整備に繋がっていると考えます。引き続き校地内の環境整理を継続していきます。

◇教職員のPTA活動への参加姿勢についての設問です。

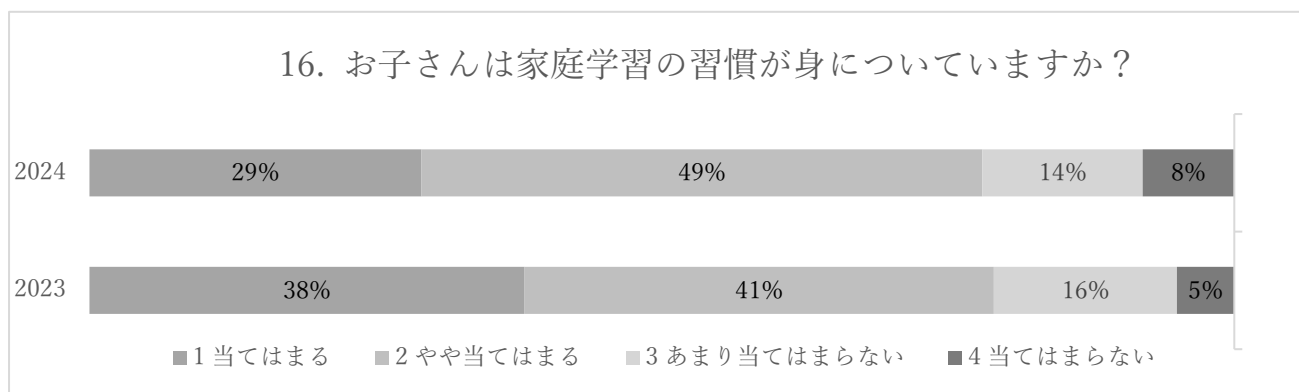


肯定的回答は昨年度と変わりなく、89%の評価を得ています。「相東っ子まつり」の相東バンドや職員のパフォーマンスやゲーム、おやじの会主催の水鉄砲大会やナイトウォークへの参加、広報誌「ひがし」への写真提供等、教職員のPTA活動への参加協力を評価していただいた結果であると感じます。教職員の長時間労働や働き方が問題となる中で、勤務時間外のPTA活動に、教職員がこういった形で協力できるかという難しい点もありますが、PTA活動自体の保護者負担も減らしながら、児童のより良い成長につながる活動の在り方を検討していきたいと考えています。

◇家庭でのお子さんの様子についての設問です。



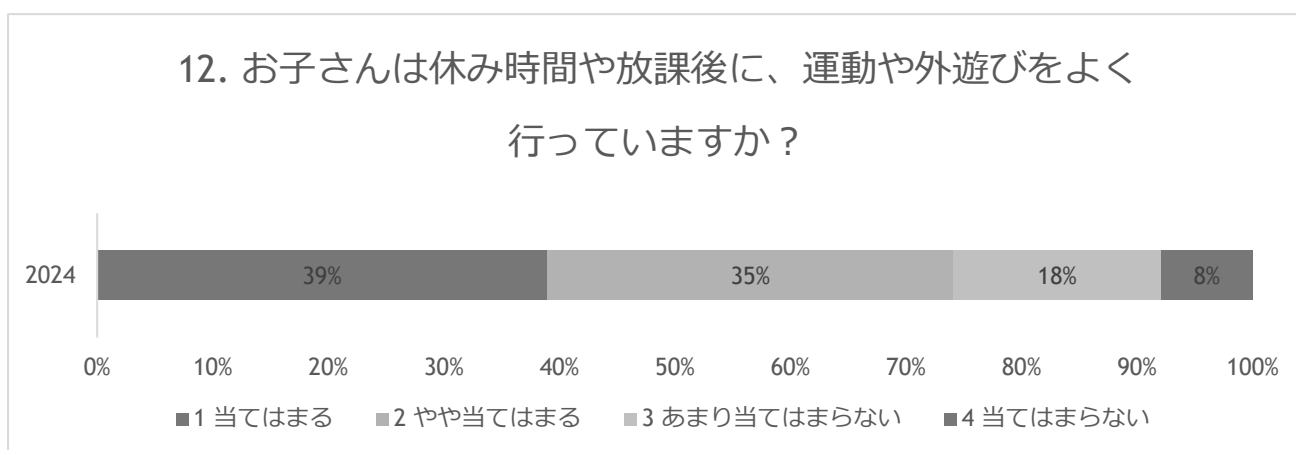
肯定的回答が9割程度の高評価となっています。今年度の学校保健委員会では、「病気になる体作り」をテーマに、家庭で気を付けることとして、「睡眠、食事、運動、ストレスをためない」ことの大切さについて、保健委員会からの発表がありました。家庭での生活習慣は、充実した学校生活を送る基盤となるものです。御家庭での習慣づくりのおかげであることに感謝し、学校でも引き続き指導・支援を継続していきます。



昨年度と比べ、肯定的な回答はほぼ同じくらいですが、『当てはまらない』の回答が3%増えてしまったことは残念です。

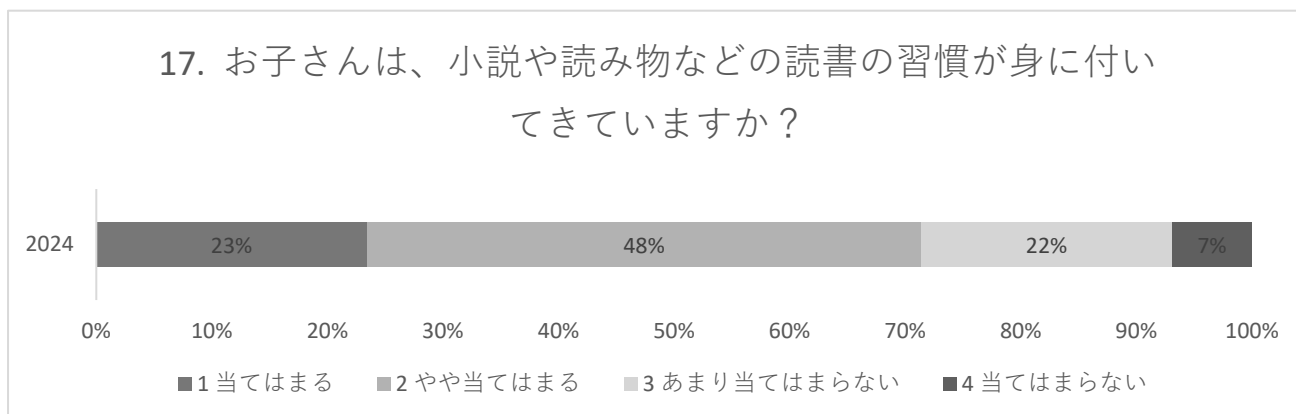
今年度は冬休みなどに学習用端末での家庭学習も積極的に取り入れましたが、今後は、各学年の発達段階に応じた家庭学習の内容や取り組み方の工夫、学習用端末のさらなる活用も視野に入れながら、児童が自主的に取り組める家庭学習の在り方について進めていきます。

◇お子さんの運動に対する取組についての設問です。



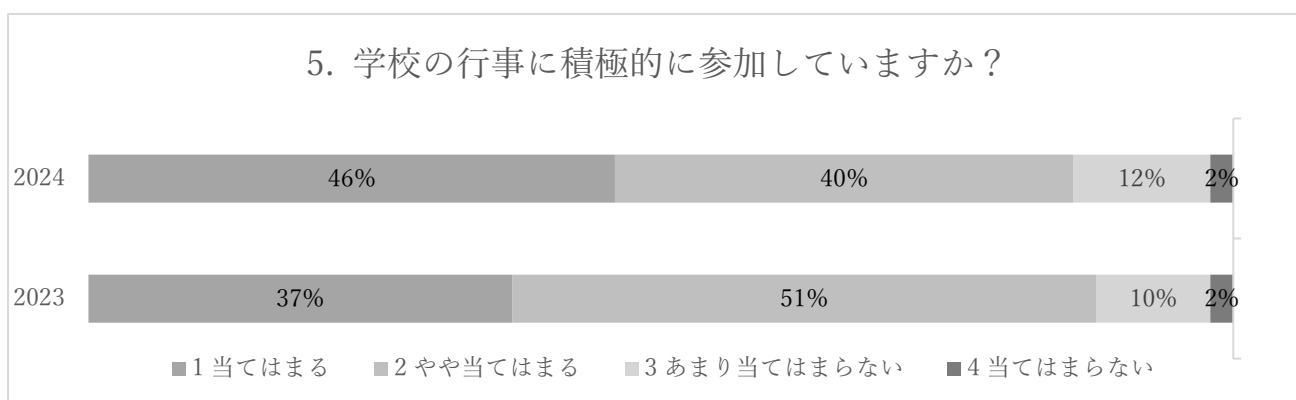
今年度からの新しい設問です。本校では児童の体力向上に向けて、日頃から様々な取組を行っています。体育の授業では体力向上を意識した動作を取り入れた準備体操を全ての学年に取り入れています。また各委員会によるドッジボール大会、なわとび週間、大縄大会など児童が楽しく運動に取り組めるような工夫も行われています。さらに学校保健委員会では体育委員会による体力テストについての発表やなわとびの技紹介なども行っています。今後も児童が楽しく運動に取り組み、体力向上を目指して学校でも引き続き指導・支援を継続していきます。

◇お子さんの読書に対する取組についての設問です。



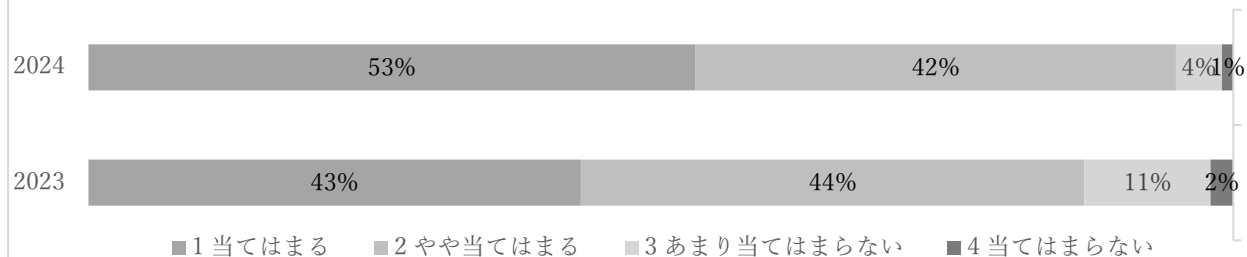
今年度からの新しい設問です。71%のお子さんに読書習慣が身に付いているという回答でした。全校では火曜日に朝読書の時間、各クラスでも図書時間を設けるなどの取組を行っています。また図書委員会では読書週間にスタンプラリーなどを行うことで、図書室に足を運び本に触れあえるようにしています。図書館担当教諭と学校図書館司書が連携をし、休み時間忙しく図書室に来る機会が少なくなりがちな高学年を対象に、おためし読書などの活動も行われました。今後も子供たちに豊かな読書体験をしてもらえよう、学校でも指導していきます。

◇保護者の学校教育への関心についての設問です。



学校行事への積極的な参加について、『当てはまる』の回答が9%増えました。今年度、土曜参観やコミコミスクール、運動会、書き初め展などの学校行事にたくさんの保護者の方に来校いただきました。来年度も教育活動の工夫を行い、保護者の皆様と共に児童のより良い学校生活を支えていく方法を模索していきます。

6. 学校からのたよりやホームページには、目を通していますか？

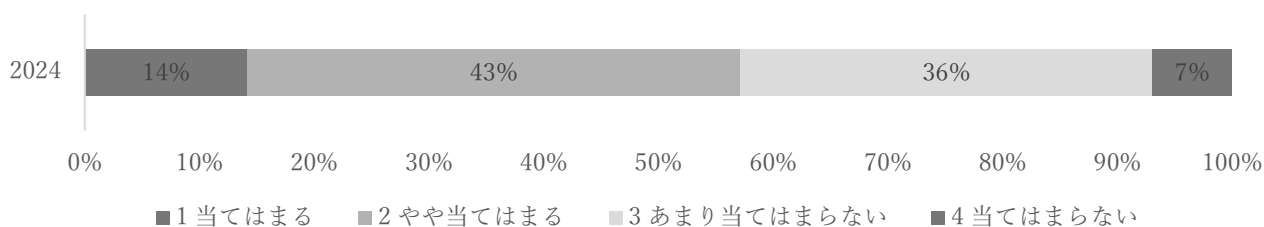


昨年度より肯定的な回答が8%増え、95%という結果となりました。

現在では、学校から発信する情報を保護者の皆様にタイムリーに届くよう「スマホで連絡とれ〜」の機能を活用して各種のおたより（保健だより・給食だより・献立表）をデータ送信する取組を行っています。また、相東小だよりには、教育ボランティア（学校運営協議会の方々のご協力ですらったボランティア）活動の紹介やPTA活動、おやじの会、お話し会、情報モラル実態調査報告などを掲載しています。毎週発行される校長室だよりでも児童の日常の活動や様子を詳しくお知らせしています。さらに、ホームページには、学校生活の日常の様子を写真と共に掲載しました。「スマホで連絡とれ〜」の機能を活用しつつ、ホームページの充実を図るとともに、紙面でのおたよりと併用しながら、学校の取組やお知らせをしていきます。

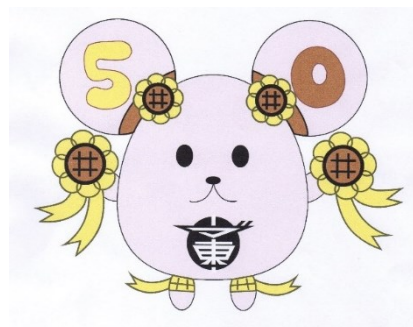
保護者の皆様や学校に関係する地域の皆様に、本校の教育活動へのご理解、ご協力をいただけるよう、今後も情報発信に努めていきます。

13. 保健・給食だより等を参考にし、お子さんの健康衛生管理に役立っていますか？



今年度からの新しい設問です。学校から発信する情報を保護者の皆様にタイムリーに届くよう、現在、保健だよりや給食だより、食育だよりは「スマホで連絡とれ〜」で配信しています。保健だよりでは健康な生活を送るための基本的な情報から、感染症流行時には感染状況や感染予防対策などの情報をいち早く発信してまいりました。また、給食だより、食育だよりでは郷土料理の紹介や作り方などを掲載し、食の歴史や栄養について興味を持ってもらえるよう工夫を凝らしています。

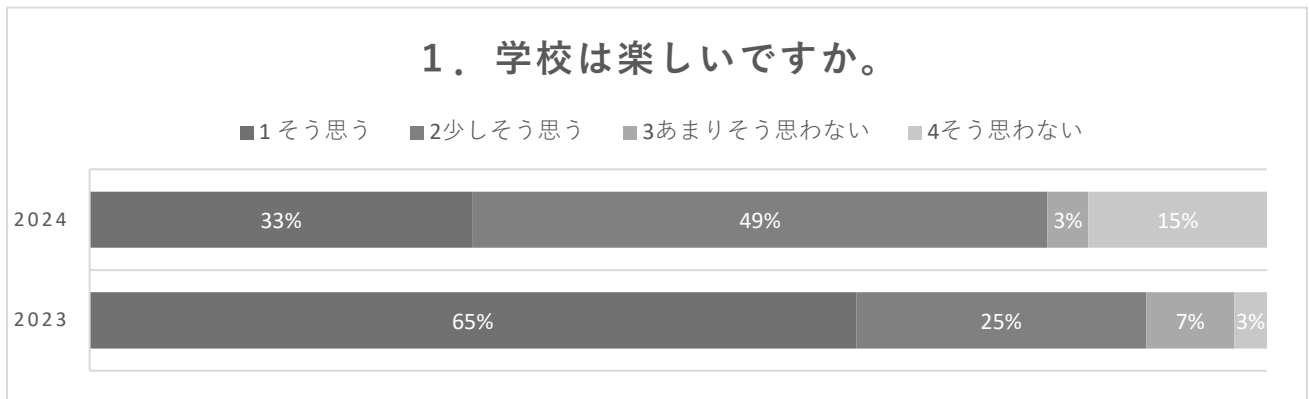
今後も保護者の皆さんのお役に立つ情報を発信できるよう努めてまいります。



50thAnniversary キャラクター「ひまスター」

《児童アンケートより》

◇学校生活と友達関係についての設問です。



肯定的な回答は82%の児童から回答がありましたが、『そう思う』の回答が大幅に減ったことがとても残念です。また『そう思わない』と回答した児童が15%いることを重く受け止め、居心地良く過ごせていない児童の気持ちに気付き、寄り添える姿勢を教師が持ち続けていきます。

今後は、児童同士が、学習や遊びを通してさらに深く交流し、お互いの思いや考えを伝え合うことの良さや楽しさが実感できるような学びの場を考え、学習活動はもちろんのこと、日々の生活や行事等、全ての教育活動の中で、児童一人一人が居心地よく過ごせる工夫を継続していきます。そして、楽しい学校生活を送るために、児童が主体的に行動できるよう、指導・支援をしていきます。



今年度からの新しい設問です。友達との助け合い、思いやりについては、肯定的回答率が80%となっています。本校では児童相互の「学び合い」を取り入れた授業づくりや、互いを認め合う学級づくり等を進めています。また、本校では「温かな関わり合いを通してみんなで成長していける児童の育成」を目指した教育活動を日々行っています。さらに今年度児童会を中心に「思いやりプロジェクト」を行い、友達の良いところ、友達にしてもらって嬉しかったこと、自分の頑張ったことなどを「思いやりの木」に書き、お互いを認め合う活動を行ってきました。引き続き、児童同士が互いに安心できる人間関係が築けるよう指導・支援し、今後も安心して学校生活を過ごすことができるようにしていきます。

◇あいさつを積極的に行えているかについての設問です。

3. 進んで友達や先生、家の人、近所の人にあいさつをしていますか。



今年度からの新しい設問です。本校では今年度あいさつに積極的に取り組んできました。児童会の取組として「あいさつ運動」を行い、あいさつの輪を全校に広げていくことができました。また、校長・教頭が毎朝、教職員はあいさつ運動日に、民生委員さんと通学路に立ち、あいさつをしています。このような取組を通して「あいさつの輪」が広がり、相武台東小学校に来られたお客様からも「相武台東小学校の子どもはあいさつがよくできますね。」とお褒めの言葉をいただいています。

一方で、地域でのあいさつにはまだ課題が残っています。地域の中でもあいさつの輪が広がるよう、学校と地域がさらに近い関係を築いていく必要があると感じます。そこで、コミュニティ・スクールの方々との連携を強め、地域の方々のご理解やご協力を得ながら開かれた学校となるようにしていくことが大切と考えています。そして、児童と地域の方々の距離が縮まり、あいさつを通して得られる円滑なコミュニケーションを児童に実感させながら、あいさつが響きあう相武台東小学校にしていきたいと考えます。

◇規範意識についての設問です。

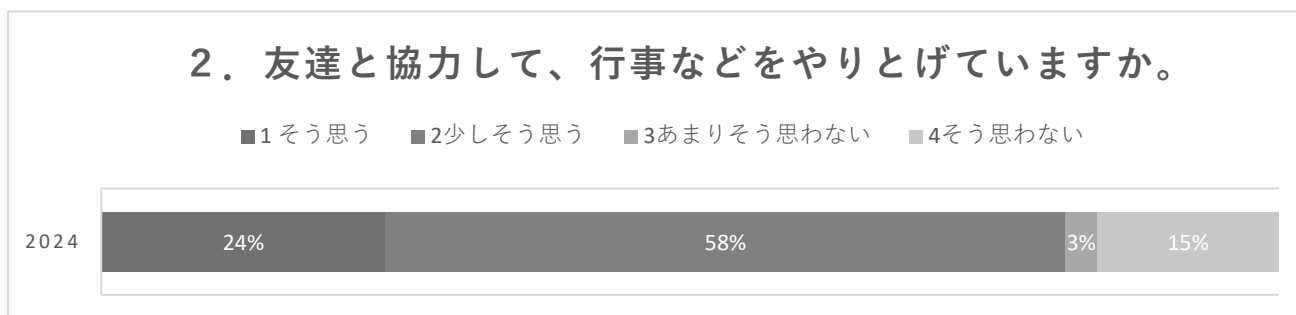
4. 良いこと悪いことや、危ないことをしないなど、考えて生活していますか。



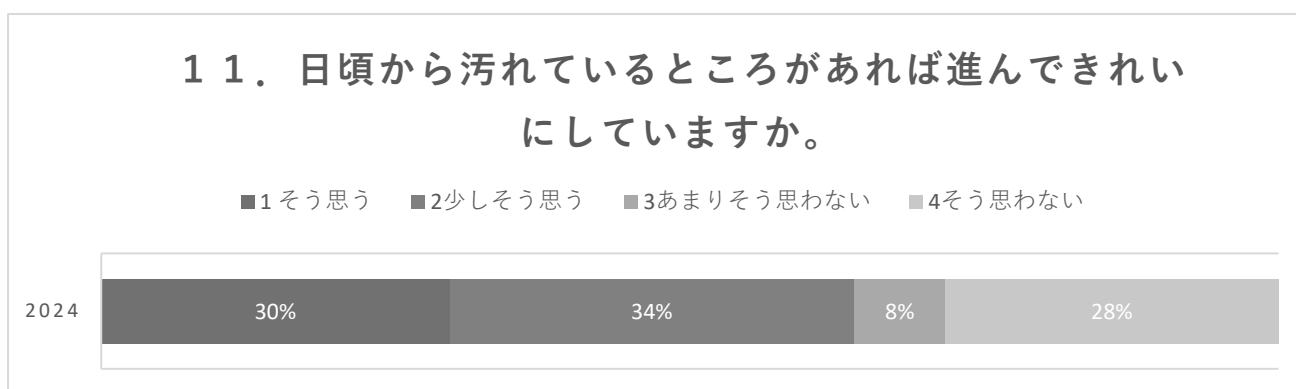
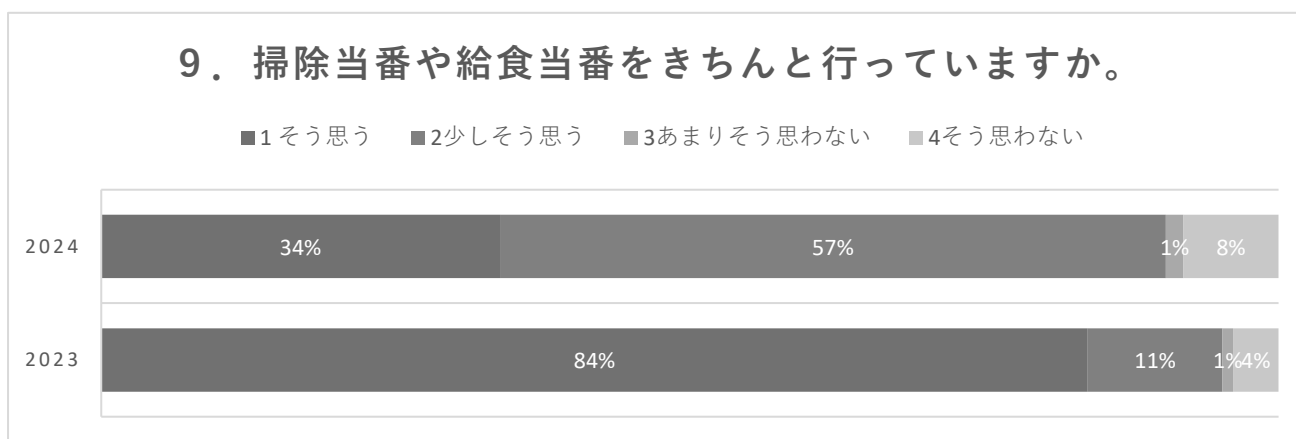
今年度からの新しい設問です。

77%の児童が肯定的な回答をしていましたが、23%の児童が良いことや悪いこと、危ないことに対して意識した行動が不十分であるということが分かります。相武台東小学校の児童が安心して学校生活を送れるようにしていくためにも、児童一人一人がこの意識を高めて行動できるようにしていきます。また、校内だけでなく、家庭や地域での様々な場面の中で、具体的に考えて行動できるよう指導していきます。そのためにも、家庭や地域との連携を密にし、仲間と共により良い生活を自分たちでつくっていかうとする意識を育てていきたいと思ひます。

◇集団活動への主体的な参加についての設問です。

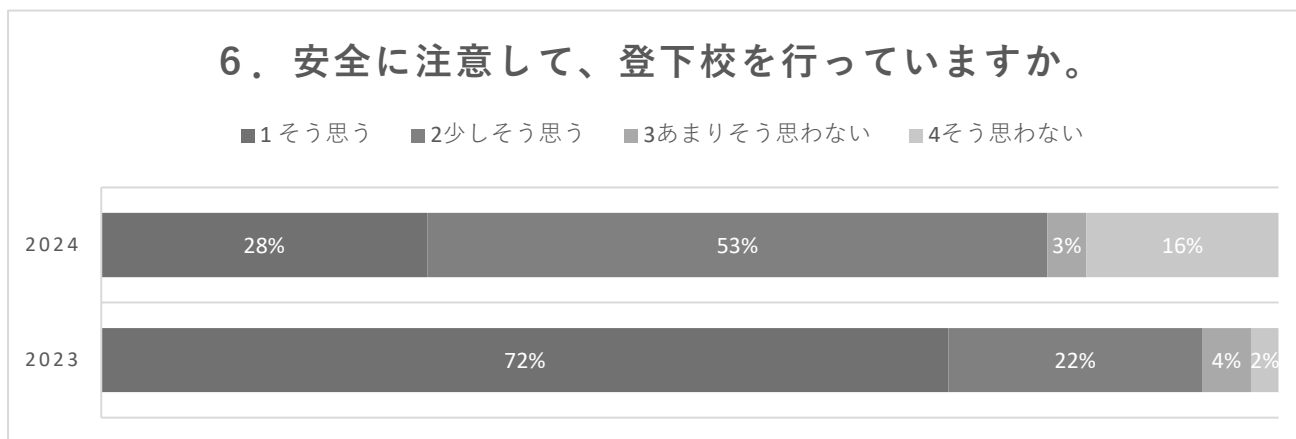


本校には交流フェスティバルなど児童自ら主体的に活動する場面がありますが、今後もこのような学校や学級の中で児童が主体的に活動する場面を考えていく必要があると感じています。具体的な活動についても、児童の側から意見や考えを募り、児童自ら学校や学級の活動の主体となって行動することの楽しさを実感させていきます。そのためには、児童会や委員会など児童が主役となる活動を考え、各学級へ波及する取組を意識して考えていく必要があると考えます。今後は児童が主体的に楽しみながら学校や学級の活動に取り組めるよう内容や方法を吟味し、指導・支援をしていきます。



設問9、11は所属集団での働きや貢献を問う設問です。自分の所属する集団が、生き生きと生活を営む上で、欠かせない意識や行動です。学校での当番活動などは「義務や責任を果たす」といったこと以上に「主体性を育てる」「誰かのために役に立っている」「自分は役に立っている」という自己有用感を育てるという点で大変大切であると考えます。設問11は今年度からの新しい設問ですが、自主的に考えて行動できる子供に育つよう、今後も感謝や承認の言葉を児童に伝えながら、主体的に取り組めるよう進めていきたいと思ひます。

◇登下校の安全意識についての設問です。



昨年度より肯定的な回答が減ってしまったことはとても残念です。登校時は1列になり、登校班長を先頭にして安全に登校できていることは大変立派です。しかしながら、下校時や放課後・休日には、交通事故につながりかねない事案や、地域の方から交通マナーの悪さを指摘されることもあります。そういった状況の中で、地域の方々が児童の登下校を見守ってくださり、大変感謝しています。自他の命を守る行動がとれるよう、家庭や地域と連携した安全教育を進めていきます。

◇読書への関心についての設問です。



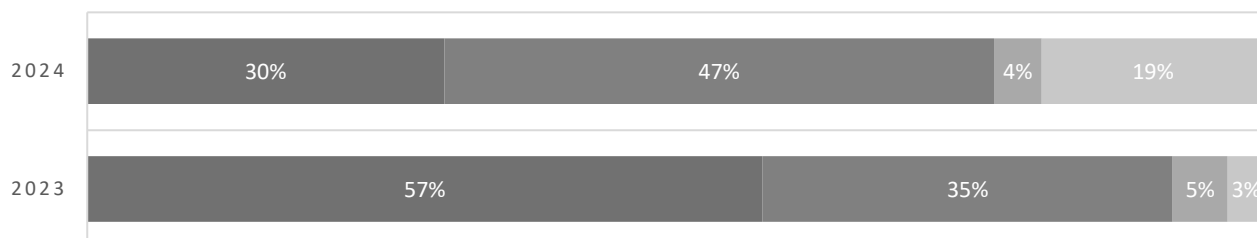
今年度からの新しい設問です。保護者に対しても同様の設問があり、71%のお子さんに読書習慣が身に付いているという回答でしたが、児童の回答も69%というもので、ほぼ同じ結果でした。

本校では朝の「お話し会」、中休みの「トトロの森」において読み聞かせボランティアさんが長年にわたり活動を続け、児童へ本の世界の楽しさを伝えてくださっています。また、図書館担当教諭と学校図書館司書が連携をし、図書ホームページでおすすめの本を紹介し、季節や生活に合わせた本の紹介や読み聞かせ、読書週間の読書推進活動、学習における図書室活用も行っています。校長室前の廊下には、毎月本を紹介し、児童が手軽に本を手にとれるよう読書環境を整えるよう努めています。こうした取組を継続しながら、各学級の図書室利用を計画的に進め、児童が本に関心を持ち、理解を深めてく取組を工夫していきます。

◇学習意欲についての設問です。

1 2. 授業はしっかり理解できていますか。

■1 そう思う ■2 少しそう思う ■3 あまりそう思わない ■4 そう思わない



昨年度よりも肯定的な回答が15%減少したことは、大変残念に捉えています。わかりやすい授業を心掛けていますが、しっかりと授業を理解しているまでに至っていないということを受撃に受け止め、今後の授業研究や授業改善に取り組んでまいります。また、「そう思わない」と回答している児童が増えていることにも注視し、引き続き「みんなでわかる授業づくり」に取り組めます。授業がわかるから勉強が楽しい、進んで勉強したいという好循環が生まれるよう、よりよい授業づくりに向け、全教職員で研究を進めていきます。

1 3. 宿題は最後まで取り組んでいますか。

■1 そう思う ■2 少しそう思う ■3 あまりそう思わない ■4 そう思わない



1 4. 宿題以外の学習も進んで取り組んでいますか。

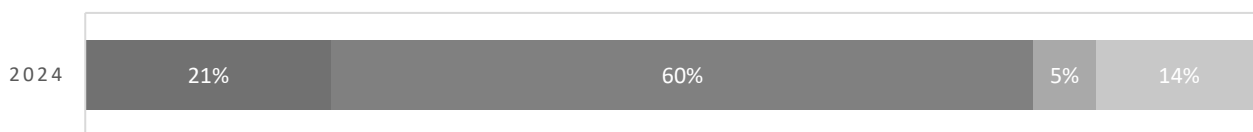
■1 そう思う ■2 少しそう思う ■3 あまりそう思わない ■4 そう思わない



設問13では宿題に対して肯定的な回答が87%でした。設問14で家庭学習に対しても72%が肯定的な回答をしており、家庭での学習習慣がついてきていることが感じられます。保護者の回答でも78%が家庭学習が身に付いていると回答していることから、今後も家庭における子ども達の自主的な学習に対する支援を継続していきます。

16. 調べ学習で、タブレットを使って調べることができますか。

■1 そう思う ■2 少しそう思う ■3 あまりそう思わない ■4 そう思わない

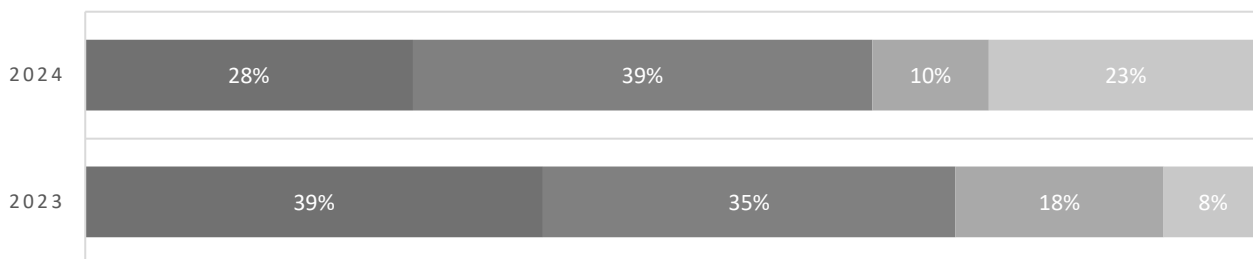


今年度からの新しい設問です。今年度、授業内での活用は昨年よりもさらに進み、児童も昨年よりさらにいろいろな場面で活用できるようになってきています。高学年は総合や社会、理科図工など様々な教科での活用が進み、低学年も少しずつタブレットの操作に慣れ、活用が進んでいます。今後も授業でタブレットを有効活用できるよう指導していきます。

◇家庭での生活習慣についての設問です。

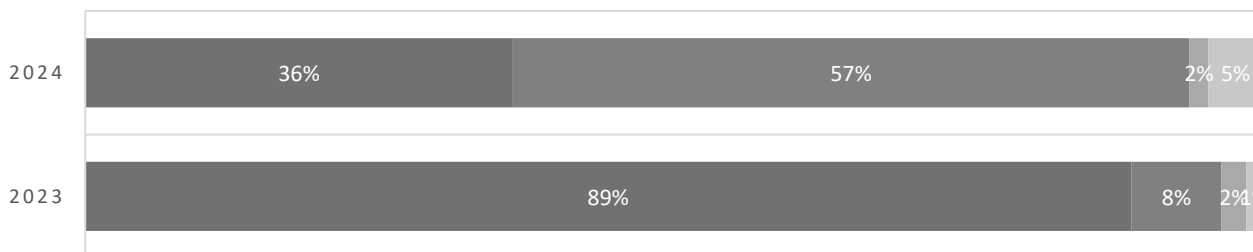
7. 早寝早起きをしていますか。

■1 そう思う ■2 少しそう思う ■3 あまりそう思わない ■4 そう思わない



8. 毎日朝ごはんを食べていますか。

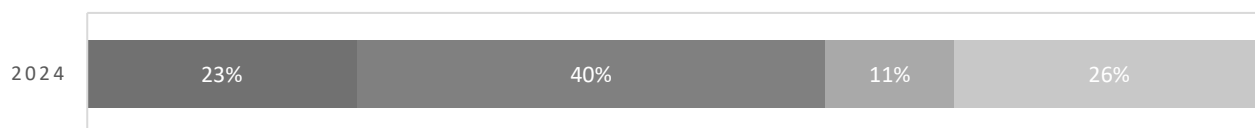
■1 そう思う ■2 少しそう思う ■3 あまりそう思わない ■4 そう思わない



設問8の朝食に関しては、昨年度に比べ『そう思う』が減り『少しそう思う』が増えていることを心配しています。学校生活を元気にスタートさせる生活のために朝食はとても大切です。設問7の睡眠については年齢が上がるにつれて、乱れていく傾向にあります。要因としてはゲームやネット等に多くの時間を費やしてしまうことや、塾や習い事による就寝時刻の遅れなどが考えられます。小学校時代は心身の基礎をつくる大切な時期です。生涯にわたって自身の心身の健康を保てるよう、家庭と学校が連携し、生活習慣の確立に努めていくことが大切だと考えます。

10. 体力テストの結果から、自分の体力の改善や向上することを考え、体力作りに取り組んでいますか。

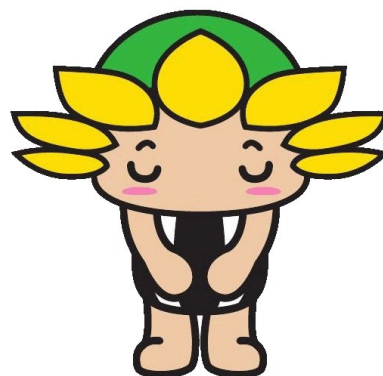
■1 そう思う ■2 少しそう思う ■3 あまりそう思わない ■4 そう思わない



今年度から新しく追加した設問です。学校保健委員会でも病気にならない体作りのために日頃の体力作りの大切さについて説明しました。運動と体の健康とのつながりを意識できるよう声掛けをしたり、休み時間や放課後、校庭で体を動かして元気に遊ぶことの良さを価値づけたりしながら、今後も体力向上の大切さを伝えていきます。また、体力テストの結果を振り返りながら、子供たち自身にも体力をつけていこうとする思いを育てていきたいと思えます。

以上が今年度の学校評価アンケートの結果と考察です。

アンケート結果を踏まえ、今後も教職員一同より良い学校づくりを進めてまいります。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。



りん